

再発見 熱海の遺跡  
『「江戸・東京からみた熱海の石丁場遺跡の魅力」』

1. 江戸城築城と石丁場  
徳川家康〜家光の江戸城天下普請


2. 石垣石材の採石から築城  
「石曳図屏風」と「築城図屏風」による石垣工事

3. 江戸城築城がその後の土木工事に果たした意義  
江戸城築城で確立された石垣工事技術が台場・品川横浜間鉄道の高輪築堤に活かされる

4. 江戸城の価値を伝える  
遺跡保存から公開活用、さらに地域の宝へ

2021.6.27 後藤宏樹

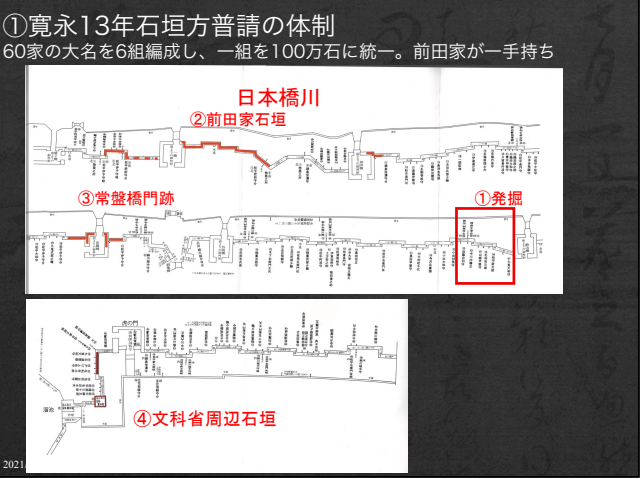
1. 江戸城築城 (1) 地形を活かした縄張り技術・内堀



④三の丸石垣  
(宮内庁尚蔵館出土)  
同じ刻印組合せが乾櫓台石垣にある



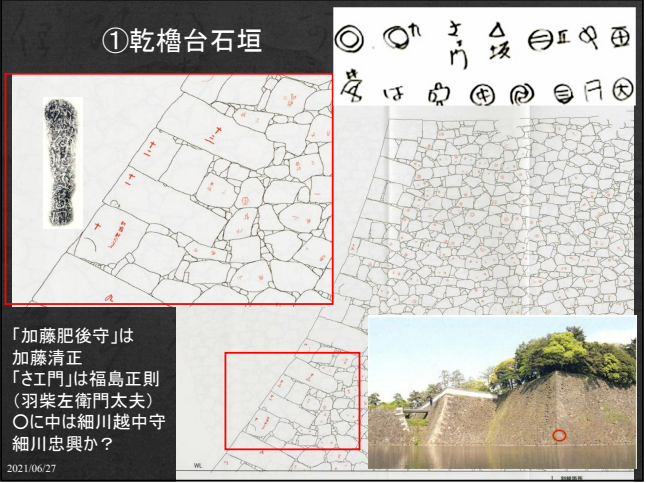
①寛永13年石垣方普請の体制  
60家の大名を6組編成し、一組を100万石に統一。前田家が一手持ち



「江戸始図」による本丸復元図



①乾櫓台石垣



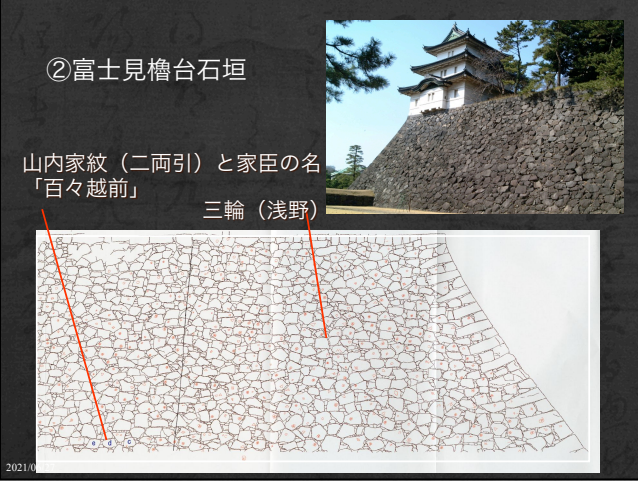
①鍛冶橋北側堀石垣



②一ツ橋錦橋間の前田家築造の石垣



②富士見櫓台石垣



③富士見櫓台石垣(南面)から埋門



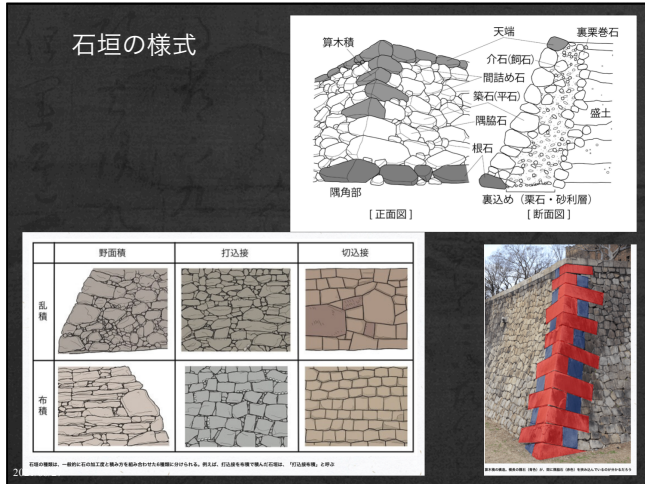
2. 石垣石材の採石から築城



石を積む



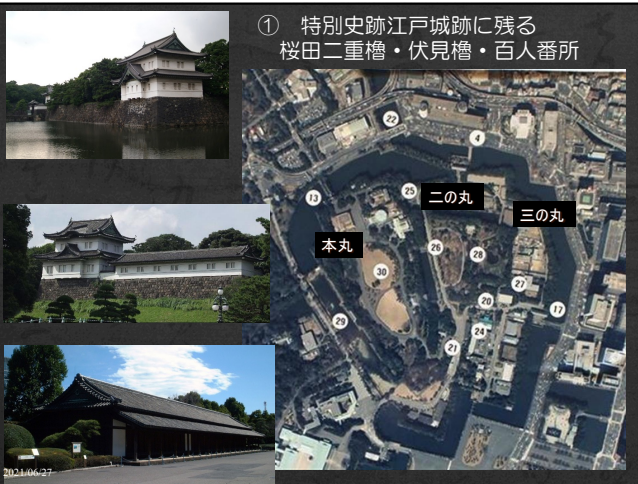




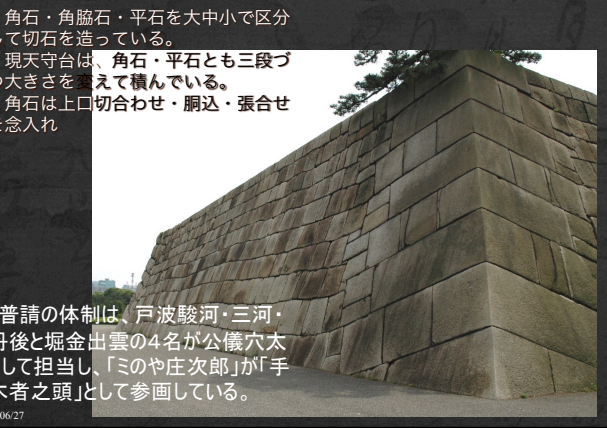
伊豆から江戸城ルート 万治元年（1658）天守台築造を例に



4. 江戸城の価値を伝えるに-現代に残る歴史遺産の活用とは？



明暦の大火後の天守台石垣工事の実態



3. 江戸城築城がその後の土木工事に果たした意義  
江戸中後期 中之門櫓台石垣



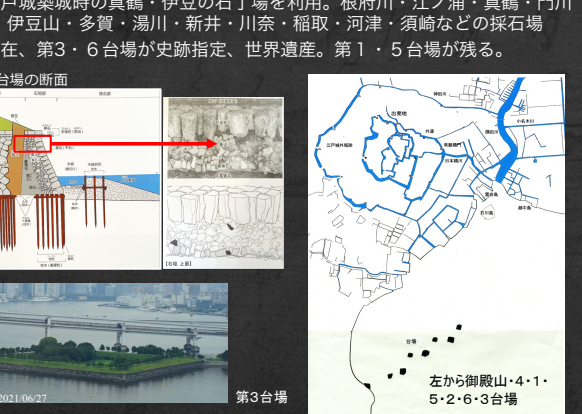
江戸城外堀の石垣と常盤橋門



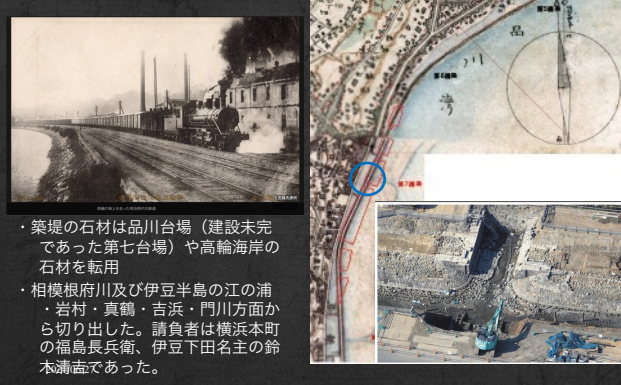
旧江戸城の展示室・解説板



嘉永7（1854）年建設の品川台場



明治4（1871）年の新橋  
横浜間鉄道・高輪築堤



史跡見学会や歴史ガイドの育成

